

背景

①訪日外国人観光客数の急激な増加

〔 2015年:約1,974万人(政府目標2000万人) 2016年1~2月:約374万人(昨年同月比1.4倍)
外国人の高速バス利用・予約が訪日外国人観光客の伸び率を上回るバス会社も 〕

②高速バスとLCCに関する画期的なインフラの整備

〔 2015年4月8日:成田国際空港にLCC専用ターミナル開業
2016年4月4日:新宿南口ターミナル「バスタ新宿」開業(予定)
2017年3月 :関西国際空港に新LCC専用ターミナル開業(予定) 〕

高速バス・LCCは「旅の有力な選択肢」の一つとして、旅行者の多様なニーズに応え、訪日外国人の国内移動や、日本人の国内観光の活性化に資する

「国内観光の振興・国際観光の拡大に向けた高速バス・LCC等の利用促進協議会」(2015年12月設置)において、**当面緊急にに取り組むべき事項**の具体的な取組方針をとりまとめ

平成28年度以降、取組可能なものから官民一体となって強力に推進

情報プラットフォームの構築

- 高速バス情報が外国語で入手可能なバス会社及び外国語で予約・決済可能な高速バスサイト等をまとめた情報プラットフォームの構築 (平成28年度早い時期)
- 国内線LCCの路線図及びLCC就航空港のアクセス情報等をまとめた情報プラットフォームの構築 (平成28年度早い時期)

イメージプロモーションの実施

- 協議会構成員が中心となり、高速バスやLCCを日本における移動手段として外国人観光客はもとより、国内旅客にも認知してもらうために有効なイメージプロモーション方策を検討 (検討の結果、実現可能なものから順次実施)
- 成田・関空における都心・大阪中心部とのアクセスに関するプロモーションの実施 (継続実施) (中部においても実施予定)

地方周遊観光の促進

- 高速バス・LCC等の新規路線の誘致活動や高速バスとLCC等をセットにしたプロモーションの実施
- 九州の「SUNQパス」等先行する取組を参考にした高速バスフリーパスの検討・組成と、高速バス・LCCに限らない既存の企画乗車券に関する外国人観光客目線での総点検
- LCCと高速バス等とを1枚で乗り継げるチケットの開発・普及拡充
- 道の駅や高速道路SA・PAと高速バスの連携推進

※平成28年度早い時期に立ち上げ予定の「訪日外国人2000万人の受入に向けた地方ブロック別連絡会2次交通ワーキンググループ(仮称)」等の場を活用して検討し、平成28年度中に実現可能なものから順次実施